

令和7年度事業報告

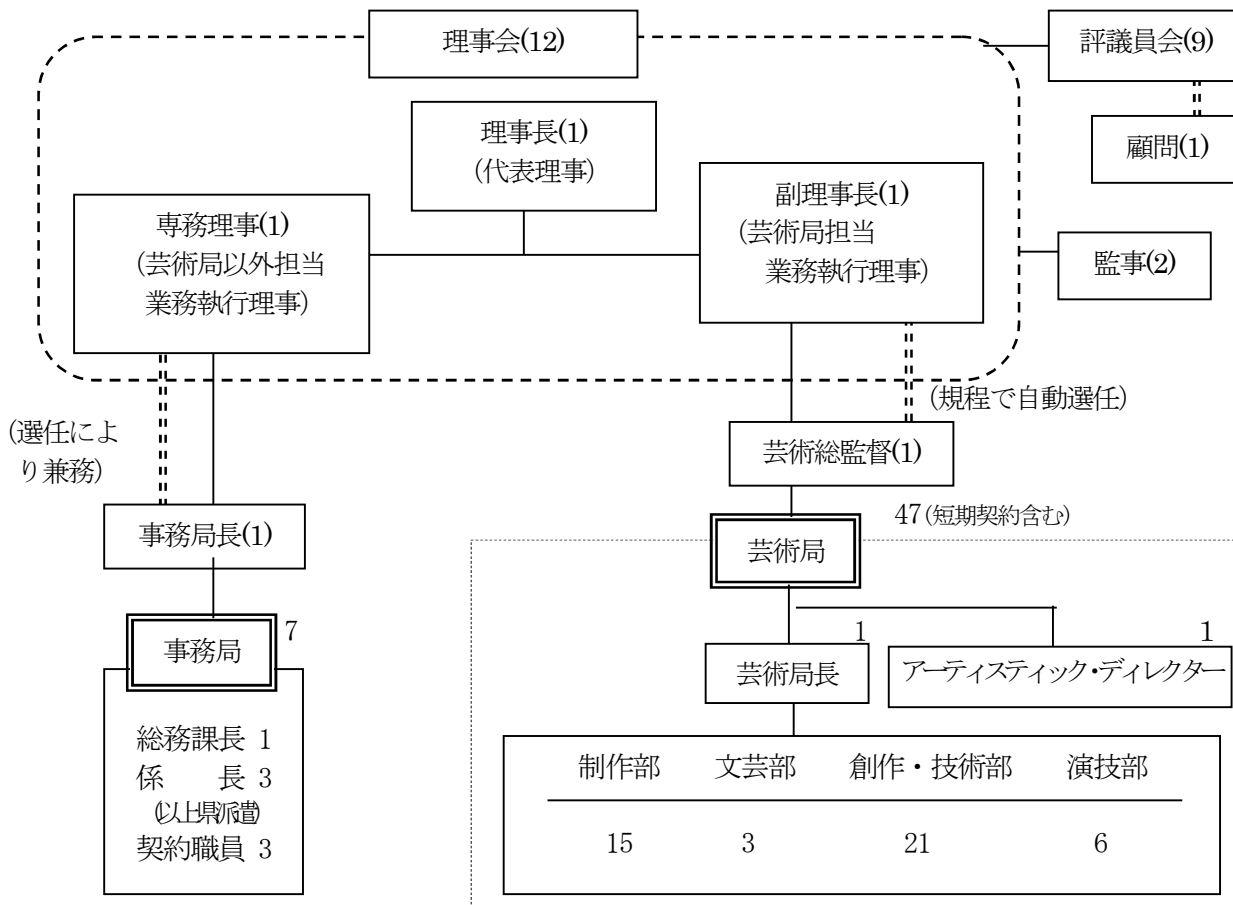
1 事務管理の概要

(1) 理事会等の開催状況

開催年月日	会議	主な内容	
令和7年4月18日	みなし決議に関する理事会	・評議員会の開催	・全ての理事から可決を得た。
令和7年4月28日	みなし決議に関する評議員会	・理事の選任	・全ての評議員から承認を得た。
令和7年5月23日	第1回理事会	・令和6年度事業報告 ・令和6年度決算報告 ・令和7年度定時評議員会の招集	・出席者全員が賛成し可決した。
令和7年6月9日	定時評議員会	・令和6年度決算報告 ・任期満了に伴う評議員、理事及び監事の選任	・出席者全員が賛成し、承認を得た。
令和7年6月26日	臨時理事会	・理事長、副理事長、専務理事の選任	・出席者全員が賛成し承認可決した。
		・顧問の選任	・出席者全員が賛成し可決した。
令和7年12月11日	第2回理事会	・令和7年度事業計画の変更 ・令和7年度収支予算の変更 ・令和7年度第2回評議員会の招集	・出席者全員が賛成し可決した。
令和7年12月24日	第2回評議員会	・令和7年度事業計画の変更 ・令和7年度収支予算の変更 ・公益財団法人静岡県舞台芸術センター職員給与規程の改正	・出席者全員が賛成し承認を得た。
令和8年3月10日	第3回理事会	・令和8年度事業計画 ・令和8年度収支予算 ・令和7年度第3回評議員会の招集	・出席者全員が賛成し可決した。
		・宮城副理事長兼芸術総監督との演出契約の締結	・宮城副理事長兼芸術総監督を除く出席者全員が賛成し可決した。
令和8年3月19日	第3回評議員会	・令和8年度事業計画 ・令和8年度収支予算	・出席者全員が賛成し承認を得た。

(2) 組織体制

令和7年度の事務局及び芸術局の組織は、下図のとおりである。(令和8年3月31日現在)



(3) 基本財産の状況

運用については、公債又は定期預金による確実な運用に努めた。

(単位：百万円)

	7年度	8年度	9年度	10年度	22年度	23年度	24年度	25年度	令和元年度
基本財産の 造成・取崩	500	500	400	300	△50	△80	△70	△180	△100

※ 令和8年3月31日現在残高 12億2千万円

(4) 許認可及び登記の状況

年月日	内容
令和7年4月28日	理事の就任
令和7年5月9日	理事の辞任・就任の登記
令和7年6月9日	評議員の就任、理事の就任、監事の就任
令和7年8月13日	評議員の退任・重任の登記、理事の退任・重任の登記、監事の退任・重任の登記

2 事業の概要

(1) 基本方針

俳優、専門技術スタッフを擁する本格的な文化事業財団として、舞台芸術の創造と公演活動を行うとともに、優れた舞台芸術の紹介や舞台芸術家の育成を図り、もって国内外への積極的な情報発信に努め、静岡県の香り高い文化の創出に寄与する。

(2) 財団の事業

【公益事業】

舞台芸術の創造と公演活動や、優れた舞台芸術の紹介、舞台芸術に関する人材の育成、舞台芸術活動の支援を行うことで、芸術文化の振興を図り、静岡県を『演劇の都』とすることで、世界各国の文化との交流の促進や、優れた特徴ある静岡県の情報を国内外に発信する事業を実施した。

① 舞台芸術の創造と公演

国内外において、舞台芸術のオリジナル作品等の創造と公演を行うとともに、海外等からの招聘作品の公演を行った。

ア 県内公演

開催日・時期	区分	演目	公演数	鑑賞者数
4月26日 ～5月6日	SHIZUOKA せかい演 劇祭 2025 (i)	『<不可能>の限りで』 『ラクリマ、涙～オートクチュ ールの燦めき』 『叫び』 『マミ・ワタと大きな瓢箪』	10	1,947人
4月29日、 5月2日～ 5月6日	ふじのくに野外芸 術フェスタ 2025 (※) (ii)	『ラーマーヤナ物語』	6	2,526人
7月24日	TECH BEAT Shizuoka2025	『イナバとナバホの白兔(第3 部)』	1	178人
8月2日、3日	KAAT との連携事業	『鏡の中の鏡』	2	226人
10月1日 ～3月9日	SPAC秋のシー ズン(中高生舞台 芸術鑑賞事業)	『弱法師』	20 (14)	4,343人 (3,378人)
		『ハムレット』	24 (17)	4,507人 (2,843人)
		『ガリレオ～ENDLESS TURN～』	29 (21)	5,146人 (3,746人)
2月28日、 3月1日	—	『うなぎの回遊 Eel Migration』 ワーク・イン・プログレス	2	122人
合 計			94 (52)	18,995人 (9,967人)

() は、中学生・高校生舞台芸術鑑賞事業の公演数で内数

(※) は、旧：ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会からの受託事業

(i) 「SHIZUOKA せかい演劇祭 2025」(詳細)(再掲)

静岡から世界に向けて演劇の魅力等を発信する国際的な舞台芸術の祭典「SHIZUOKA せかい演劇祭 2025」を開催した。

開催期間	令和7年4月26日(土)～5月6日(火・振休)
会場	静岡芸術劇場、舞台芸術公園、グランシップ
作品数	4作品
鑑賞者数	1,947人

[作品一覧]

作品	演出家・出演団体等	公演数	会場
『<不可能>の限りで』 (スイス)	作・演出：ティアゴ・ロドリゲス 製作：コメディ・ドウ・ジュネーヴ	4	静岡芸術劇場
『ラクリマ、涙～オートクチュールの燦めき』 (フランス)	作・演出：カロリーヌ・ギエラ・グエン 製作：ストラスブル国立劇場	3	静岡芸術劇場
『叫び』 (日本)	作・構成・演出・出演：小島章司 製作：株式会社エストゥディオコジマ	1	グランシップ (中ホール)
『マミ・ワタと大きな瓢箪』 (フランス)	演出・振付・出演：メルラン・ニヤカム 製作：ラ・カルパスカンパニー	2	舞台芸術公園 (野外劇場)
合計		10	

・「SHIZUOKA せかい演劇祭 2026」の開催準備

令和8年度に開催する「SHIZUOKA せかい演劇祭 2026」の内容検討・広報等の諸準備を行った。

(ii) 「ふじのくに野外芸術フェスタ 2025」(詳細)(再掲)

野外芸術で静岡の魅力を発信し賑わいを創出することにより、国内外からの誘客や交流人口の拡大につなげていく、ふじのくに野外芸術フェスタ 2025 を実施した。(SHIZUOKA 野外芸術フェスタ実行委員会(旧：ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会)主催)

・静岡公演(駿府城公園(静岡市葵区))

開催期間	演目	出演団体等	公演数	鑑賞者数
4月29日、 5月3日～6日	『ラーマーヤナ物語』	演出：宮城聡 出演：SPAC	5	2,562人

・ストレンジシード

招聘団体に加え公募により選出された団体が、市内各所で演劇やダンス等のパフォーマンスを披露する「ストレンジシード」を実施した。

開催期間	内容	出演団体数	鑑賞者数	会場
5月3日～5日	演劇やダンス等のパフォーマンス	22	40,076人	駿府城公園内及びその周辺市街地

○前記①ア県内公演のうち、県内出張公演

開催日	演目	会場	公演数	鑑賞者数
8月2日、3日	『鏡の中の鏡』	グランシップ中ホール	2	226人

1月28日～30日	『弱法師』	沼津市民文化センター (※)	4 (3)	721人 (508人)
2月4日～10日		浜北文化センター (※)	6 (5)	2,130人 (1,919人)
2月28日 3月1日	『うなぎの回遊 Eel Migration』 ワーク・イン・プログレス	浜松科学館みらいーら	2	122人
合計			14 (8)	3,199人 (2,427人)

() は、中学生・高校生舞台芸術鑑賞事業の公演数で内数

(※) は、「静岡県子どもが文化と出会う機会創出事業」(県委託) との共催

イ 県外出張公演

開催日	演目	会場	公演数	鑑賞者数
7月26日、27日	『鏡の中の鏡』	KAAT (横浜市)	2	344人
8月7日～11日 (12日(雨天中止))	『千一夜の森』	大阪・関西万博(静けさの森) (大阪市)	5	275人
12月18日	『伊豆の踊子』	昭和女子大学人見記念講堂 (東京都)	1	1,741人
合計			8	2,360人

ウ 海外公演

開催日	演目	会場	公演数	鑑賞者数
6月18日～21日	『王女メデア』	コロネット劇場 (イギリス)	4	821人

エ その他

(ア) おはなし劇場

子育て世代の親子を対象に、絵本の読み聞かせとは違い、俳優の声と音楽でつくる物語の世界を創作し、演劇について理解を深めてもらう企画を県内各地で実施した。

開催日	演目	回数	参加者数	会場
6月30日～ 7月17日	『どうぞのいす』	6	736人	三島市内保育園他
7月26日		1	60人	かんなみ知恵の和館
9月3日		4	120人	静岡てんかん神経医療センター
11月1日		2	未集計	駿府匠宿 (※)
12月10日	『しんせつなともだち』	2	27人	静岡市子育て支援センター英和 (※)
合計		15	943人	

(※) は、「静岡市まちかどシアター事業」(静岡市委託)

(イ) インクルーシブシアター

障害や言葉の壁を越えて楽しむことができる作品を創作・上演し、年齢や障害の有無に関わらず楽しめる観劇機会を提供した。

開催日	演目	回数	鑑賞者数	会場
10月11日、12日	『ちかくにあるとおく ～鏡の国のアリスより～』	4	137人	大阪府茨木市クリエイティブセンター
10月25日、26日	『ちかくにあるとおく ～鏡の国のアリスより～』	4	143人	静岡芸術劇場
10月6日～21日	『ちかくにあるとおく ～鏡の国のアリスより～』 学校訪問事業(※)	4	315人	菊川市立横地小学校、御殿場特別支援学校他
合計		12	595人	

(※) は、「静岡県子どもが文化と出会う機会創出事業」

(ウ) 公演関連企画

SPAC秋のシーズン作品において、作品をより理解し、深く感じられるような様々なイベント、ワークショップ等を実施した。

開催時期	内容	回数	参加者数	会場
10月～3月	感想シェア会、リーディングマラソン、星空観望会等	5	120人	静岡芸術劇場 舞台芸術公園

*参加者数は概数

(エ) お茶摘み体験

舞台芸術公園の茶畑を開放して、参加者とともに行楽やSPACのスタッフも参加してお茶摘み体験を実施した。(令和7年4月27日)

(オ) 各種トークイベント、ワークショップ等の実施

県内各地で、団体等からの依頼を受け、俳優やスタッフ等によるトークイベントやリーディングパフォーマンス、ワークショップなどを実施した。

(カ) 劇場外での出張劇場・朗読公演等の実施

自治体や地域団体等からの依頼を受け、県内各地域への出張劇場や朗読公演等を行った。会場では、SPACの活動紹介を合わせて実施した。

開催日	演目	回数	鑑賞者数	会場
10月3日	『泥と雪』	1	223人	専修大学(東京)
10月11日	『びしょくすきいと老婆』(和食展開会式)	1	未集計	フェルケール博物館(静岡市)
10月27日	『人間失格 2025 序章』(※)	2	119人	浜松大平台高等学校
12月11日	『ジャングル・ブック』(※)	1	121人	静岡市立服織西小学校
12月18日	『ジャングル・ブック』(※)	1	45人	浜松特別支援学校磐田分校
合計		6	508人	

(※) は、「静岡県子どもが文化と出会う機会創出事業」

(キ) 「私のあしながおじさんプロジェクト for Family 2025」の実施

県内のひとり親家庭支援及び就学援助を受けているご家庭に鑑賞チケットをプレゼントし、「親子で一緒に本格的な演劇作品を鑑賞する」という体験を届けるプロジェクトを、各地域の関係団体等の協力の下で実施した。

開催日	演目	鑑賞者数	会場
8月23日、24日	『ISSANBA～together as one～』	31名	静岡芸術劇場
11月9日、12月7日	『ハムレット』	6名	静岡芸術劇場
2月14日、3月7日	『ガリレオ～ENDLESS TURN～』	5名	静岡芸術劇場
3月1日	『うなぎの回遊 Eel Migration』 ワーク・イン・プログレス	2名	浜松科学館みらいーら
合計		44名	

(ク) ナイトタイムコンテンツ活用事業の実施

県からの委託を受け、舞台芸術公園を活用し、インバウンド客をはじめとする来園者に対して舞台芸術公園の新たな魅力を発信し、県有文化施設の周遊促進、SPAC及び舞台芸術公園の認知向上を図るイベントを実施した。

開催日	演目	内容	来場者数	会場
9月6日、7日	『真夏の夜の夢の宴』	余興演劇、餅まき、カラオケ、占い等	410人	舞台芸術公園

(ケ) 鈴木忠志氏スペシャルトークの実施

財団設立30年の節目の年に、財団創設期に公共劇場の理念を提示した初代SPAC芸術総監督・鈴木忠志氏を迎え、舞台芸術の存在意義と可能性を改めて考えるスペシャルトークを実施した。

開催日	演題	来場者数	会場
1月17日	『舞台芸術の存在意義と可能性』	215人	静岡芸術劇場

② 舞台芸術に関する人材育成

ア SPAC演劇アカデミーの実施

高校生から23歳までの若者を対象とした1年制の演劇学校。5期生15人に対してSPACの俳優やスタッフ等がきめ細かな指導を行い、演劇を学んだ。具体的には、名作戯曲の上演に向けての稽古や、教養、英語、ライティングの学習等を行ったほか、成果発表会を実施した。

【成果発表会】

開催日	演目	鑑賞者数	会場
3月22日	『邯鄲』	244人	静岡芸術劇場

イ SPACシアタースクールの実施

夏休み期間中に、県内の中学1年生から高校3年生の生徒たちに、講義や実技、鑑賞を通じて、演劇の魅力をより深く体感してもらうことを目的としてシアタースクールを実施し、最終日にはその成果の発表会を行った。

【成果発表会】

開催日	演目	鑑賞者数	会場
8月16日、17日	『星の王子さま』	456人	静岡芸術劇場

ウ 「スパカンファンプラス＝SPAC-ENFANTS-PLUS」の実施

フランスを拠点に国際的な活動を展開する振付家・ダンサーのメルラン・ニヤカム氏を迎え、オーディションで選ばれた静岡の中高生と55歳以上のメンバーとともに新しい舞台を創造するプロジェクトであるスパカンファンプラスを実施した。

(※SPAC-ENFANTS＝フランス語でスパックの子どもたち)

開催日	演目	鑑賞者数	会場
8月23日、24日	『ISSAMBA～together as one～』	341人	静岡芸術劇場

エ 「すぱっくこども大会」の開催

子どもたちの感性あふれる表現力を育くむとともに、次世代の舞台芸術の担い手を育て応援するため、小学生を対象として、歌唱やその他様々な芸などを発表する「こども大会」を実施した。

開催日	内容	参加者数	入場者数	会場
3月14日、15日	歌唱、舞踊、演奏、その他様々な芸の発表	44人	177人	静岡芸術劇場

オ 「SPACシアターアーツ・ラウンジ」の開講

演劇後に、演劇の感想・批評をはじめ、政治・経済・文化・芸術など様々な切り口から討議・意見交換を行うアーティストトークを実施した。

開催日	演目	回数	参加者数	会場
10月4日、5日	『弱法師』	2	200人	静岡芸術劇場
11月9日、15日	『ハムレット』	2	350人	
1月18日、2月1日	『ガリレオ～ENDLESS TURN～』	2	290人	
合計		6	840人	

*参加者数は概数

カ バックステージツアーの実施

演劇後に、SPAC創作・技術部を中心に、舞台裏の案内を実施した。

開催日	内容	回数	参加者数	会場
10月19日	『弱法師』	1	35人	静岡芸術劇場
11月22日、23日	『ハムレット』	2	79人	
1月24日、25日、 2月14日、15日	『ガリレオ～ENDLESS TURN～』	4	154人	
合計		7	268人	

キ 「ストリートシアター グローバル人材育成プロジェクト"STRANGE Lab."」

ストリートシアターの創作・上演に加え、連続講座「ストリートシアターってなんだ？」ゼミを開催し、講座を通じてストリートシアターの見方を養うとともにストリートシアターの作劇術等を学んだ。

ク 海外からの教育研修等の受入れ

韓国・ソウルの演劇協会及び仏・パリのコンセルヴァトワールから学生を受け入れ、演劇アカデミーやSPACの俳優とトレーニング等を通して交流を図った。

開催期間	受入団体	受入数	会場
1月10日～12日	韓国・ソウル演劇協会	16人	舞台芸術公園
3月1日～7日	フランス・パリコンセルヴァトワール	33人	静岡芸術劇場

ケ 「静岡県子どもが文化と出会う機会創出事業（演劇）」の実施

静岡県からの委託を受け、県内における芸術文化の振興と裾野の拡大を目的とし、子どもたちが多様な文化と出会い、体験する機会を提供する各種プログラムを実施した。

(ア) 学校訪問プロジェクト（県委託の他、自主事業分も含む）

「ひらけ！パフォーミングアーツのとびら」と題し、県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校、放課後児童クラブなどをSPACの俳優・スタッフが訪問し、子どもたちが演劇を体験する機会を提供した。

開催期間	内容	施設数	参加者数	会場
5月27日～ 12月18日	ワークショップ、ダンスプログラム、出前劇場 等	26	1,511人	県立田方農業高等学校、富士宮市立西富士中学校、静岡サレジオ小学校他

(イ) 出張公演（再掲）

地域の公共ホール等で中学校・高校・特別支援学校を対象とした出張公演を行い、遠隔地の子どもたちに本物の演劇に触れる機会を提供した。

開催日	演目	公演数	鑑賞者数	会場
1月30日	『弱法師』	1	313人	沼津市民文化センター
2月9日	『弱法師』	1	516人	浜松市浜北文化センター
合計		2	829人	

(ウ) インクルーシブシアター（再掲）

障害や言葉の壁を越えて楽しむことができる作品を創作・上演し、年齢や障害の有無に関わらず楽しめる観劇機会を提供した。

開催日	演目	回数	鑑賞者数	会場
10月6日～21日	『ちかくにあるとおく～鏡の国のアリスより～』学校訪問事業	4	315人	菊川市立横地小学校、県立浜松視覚特別支援学校、御殿場特別支援学校、富士特別支援学校

(エ) すぱっくおやこ小学校

芸術に触れる体験機会の少ない小学生及びその保護者を対象とした親子向け講座を実施した。

開催日	内容	回数	参加者数	会場
6月21日、22日	算数、国語、体育などのレクチャー、ワークショップ	4	65人	長泉文化センター ベルフォーレ
7月5日、6日、 12日、13日		8	126人	静岡芸術劇場 OTOWA FOOD HALL SHiiITO
8月9日、10日		4	55人	菊川市文化会館アエル
8月30日、31日		4	77人	浜北文化センター（※）
合計		20	323人	

（※）は、県と浜松市浜北文化センター（浜松市文化振興財団）との共催事業

③ 芸術に関する活動の支援

ア 「SPAC県民月間」の実施

県内を中心に、演劇やダンス、音楽等の舞台芸術活動を行っている団体を募集し、舞台芸術公園を使用しての自主的な創造・上演活動を支援した。

開催日	団体名	演目	公演数	鑑賞者数	会場
8月23日、24日	K's pro.	『醜い花-re Birth-』	2	494人	野外劇場「有度」
8月30日、31日	ミュウヤ	『THE FOREST Reborn』	2	368人	野外劇場「有度」
合計			4	862人	

イ 人材の派遣と技術支援

静岡県や県内市町、県内大学等へ委員・講師などとして派遣した。

主な派遣先	内容
静岡県	文化政策審議会 委員派遣
静岡県	ふじのくに子ども芸術大学実行委員会 委員派遣
静岡県	小・中・高校教員初任者研修 講師派遣
静岡県	「未来を切り拓く Dream 授業」 講師派遣
富士市	市民参加型野外舞台公演事業 講師派遣
静岡大学	「(現代)の芸術—文学・演劇・美術」 講師派遣
静岡県立大学	静岡県立大学×SPAC「コトバを感じる・動かすワークショップ：オノマトペのふしぎ」 講師派遣
静岡英和学院大学	集中講座「演劇論」 講師派遣
静岡文化芸術大学	「舞台運営論」 講師派遣
専修大学	演劇体験ワークショップ 講師派遣
静進情報高等専修学校	キャリアデザイン講師派遣
牧之原市立勝間田小学校	学校における文化芸術鑑賞体験事業 講師派遣
磐田市立東部小学校	音楽指導ワークショップ 講師派遣
三島市	先生のための創作・表現スキルアップ講座 講師派遣
株式会社生きる力	学童保育向け演劇ワークショップ 講師派遣
静岡県 BBS 連盟	コミュニケーション向上ワークショップ 講師派遣
協和医科器械株式会社	新入社員研修 講師派遣
スズキ株式会社	新任役員研修 講師派遣

ウ 舞台芸術に関する研究誌の発行

「SHIZUOKA せかい演劇祭」や「秋のシーズン」のテーマ等について、各界の専門家による対談や論考を掲載した研究誌「劇場文化」を発行した。

④ 舞台芸術公園の管理（県からの指定管理業務）

ア 舞台芸術公園の維持管理業務

指定管理業務の内容			
施設内警備	施設内清掃	空調設備保守点検	消防設備保守点検
電機設備保守点検	給水設備保守点検	汚水処理施設保守点検	舞台照明設備保守点検
舞台音響設備保守点検	舞台機構設備保守点検	植栽等園地管理	公園内施設の各種修繕
施設内警備	施設内清掃	空調設備保守点検	消防設備保守点検

イ 公園利活用の促進

舞台芸術公園の魅力向上及び舞台芸術への理解醸成を図るため、国内外の舞台芸術の歴史やSPACの歩み等を掲示する演劇ミュージアム「せかいの劇場ミニミュージアムてあとろん」を舞台芸術公園A棟内(カチカチ山)にて運営した。

(ア) 「てあとろんデー！」の開催

舞台芸術公園と演劇ミュージアム「せかいの劇場ミニミュージアムてあとろん」を県民に楽しんでもらうため、「てあとろんデー！」を実施した。

開催日	内容	回数	参加者数	会場
7月12日	読書会、SPAC俳優のガイドによる園内ツアー、ワークショップ等	1	37人	舞台芸術公園
9月6日		1	33人	
11月8日		1	32人	
2月21日		1	33人	
合計		4	135人	

⑤ 賛助会員及びSPACの会

ア 会員の状況(令和8年3月31日現在)

		人数及び団体数
賛助会員	個人	10人
	法人	41団体
寄附会員	個人	3人
	法人	3団体
SPACの会	個人	291人
	法人サポーターズクラブ	12団体

【収益事業】

① カフェ・物販事業の実施

舞台芸術への理解や知識を深めるとともに、SPACの活動に親しみを持ってもらうことを目的に、書籍やTシャツ等の販売、カフェの営業等を行った。

② 舞台芸術公園飲料自動販売機設置運用事業の実施

舞台芸術公園の利用者サービスの向上と当法人の収入確保に寄与するため、舞台芸術公園に飲料自動販売機を設置し運用した。